



長かった夏休みも終わり、夏休みの思い出と一緒に子どもたちの元気いっぱいの声が学校に帰ってきました。今年の夏は観測史上最高の暑さを記録することもあり、厳しい暑さでしたが、子どもたちはそれぞれに充実した夏休みを過ごせたことだと思います。たくさんの宿題を抱えて登校する姿に夏休みの成果が現れています。前期後半は約1ヶ月、まだまだ猛暑が続きますが、熱中症には気をつけながら前期のまとめをしていきたいと思っています。

今年も新野の夏祭りに参加しました

7月20日(土)、今年も新野の夏祭りに参加しました。新野東小の子どもたちの出番になると、急に激しい雷雨になりましたが、子どもたちは雨に負けることなく元気に歌い踊りました。



夏休みプール開放

不安定な天候や高い気温の続いた夏休み前半でしたが、新野東小では計画通りにプール開放ができ、たくさん子どもたちが水泳を楽しむことができました。保護者のみなさん暑い中でのプール監視お世話になりました。



水泳能力検定会

今年の放課後水泳練習には2~6年生の多くの子が参加し、うまく・速く泳げるように一生懸命練習を続けました。そして、6年生のさんが市の水泳検定会でよく頑張つて自由形で3位になり、県の水泳検定会でも、素晴らしい記録を残すことができました。



人権絵はがき教室

8月5日(月)夏休みの登校日、阿南市人権擁護委員の方4名に来ていただき、人権絵はがき教室を開きました。1枚のはがきにお気に入りの絵を描き、感謝のメッセージを添えます。心のこもったメッセージが書いていました。校舎の玄関と市人権フェスティバルでは夢ホールに飾られるので見てください



パリではパラリンピックが開かれ、オリンピックに続き、日本人選手の活躍が連日伝えられています。そんなニュースを見ながら、昨年、新野東小に来てくれたパラリンピックメダリストの先生の言葉を思い出しました。

先生は伝えることの大切さを話してくれました。自身の経験から、伝えなければ何も始まらない。伝えることで未来が開けるんだと全身で語ってくれました。先生の話から、知らないこと、わからないことが誤解を生み、謝った認識を育ててしまうんだと改めて感じました。しかし、伝えることは簡単ではありません。相手の現状や背景を知らない、自分中心の一方的な伝え方は相手も自分も傷つけてしまいます。伝える相手を思いやり、尊重する態度や話し方が大切だと思います。10月には外国人留学生が2回も新野東小に来てくれます。言葉も文化も違う外国の方との交流し、コミュニケーションを図ることで、子どもたちが多くのことを感じ、学んでくれることを楽しみにしています。